

まんさく

第306号

社会福祉法人 光寿会
まんさく編集委員会
和賀郡西和賀町湯本30-76-1
TEL 0197-84-2526
題字 元理事長 太田 祖 電



光寿苑のお年寄りの敬老を祝う友愛訪問 ～令和6年10月14日開催～

やよい会の子もたちが踊りを披露。お年寄りたちは「あいや、めんこい♡」と、目じりが下がり
まくり♡ さらに、家族会員・熊谷さんらに寄るサクソとウッドベースの演奏に酔いしれました♪

306号『まんさく』もくじ

☆2頁★

- *今生より往く
- *美しき音色に包まれて

☆3頁★

- *ひやりはっと及び事故まとめ

☆4頁★

- *地域密着型事業紹介
- *寄贈・訪問等

☆5頁★

- *元気です！家族会♪
- *衆議院選挙関連 *移動図書利用

☆6頁★

- *「光寿苑の日々」(4コマ漫画)
- *「自然法爾」(お寺さんのお話) *「おわりに」



鈴木シンさん
【97歳】

いつでも誰にでも、「ありがとう」の心で



『今生より 往く』

いつも職員を気づかい「ありがとう」と温かい言葉を伝えて下さいました。そんなシンさんの言葉に、いつも助けられ、支えられてきました。

家族想いで、娘さんやお孫さんのことをいつも気にかけて、面会の際はとても喜んでいました。一緒に湯川(地元)へ外出できて、嬉しかったです。

《担当・高橋大樹》

美しき音色に包まれて 10月27日

オカリナ奏者の方々が、何と東京からお見えになりました。馴染みある曲たちと美しい音色に、お年寄りたちも酔いしれた時間。いつもよりも大きな声で曲に合わせて歌うお年寄りたちでした♪



【ひやりはっと及び事故まとめ】(令和6年度上半期)

合計『142件』
前年下半期比『53件減』

場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
居室	20	17	16	15	17	13	98
トイレ	1	1		3	1	3	9
ホール	4		1	1			7
浴室		2	2		2		6
廊下	1	2				2	5
ベッド	1		1	1		1	4
湯の町茶の せせらぎ		1		1	1		3
こまち広場	1				1		2
介護室					1		1
医務室・静 仏間			1				1
外出先					1		1
大通り居所			1				1
脱衣所					1		1
洗面所	1						1
合計	29	23	23	21	26	20	142

※1件の介護事故を赤色で表記

所見	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
内出血	8	6	9	6	7	9	45
表皮剥離	1	3(1)	3		3	2	12
切り傷	1	2	1		1	2	7
擦り傷	1	1	2	1	1		6
掻き傷						1	1
打撲			1				1
裂傷	1						1
無し	17	11	7	14	14	6	70
合計	29	23	23	21	26	20	142

事故内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外傷	13	13	15	10	11	12	74
転倒・転落	8	5	4	8	8	4	38
与薬	3	3	3	1	3	1	14
経管栄養				2	1	1	4
紛失・破損	1	1			1		3
管理ミス	1				1	1	3
誤嚥・誤飲			1			1	2
見守りエラ	2						2
異食					1		1
尿カテ		1					1
熱傷	1						1
合計	29	23	23	21	26	20	142

事故発生時間帯	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
06:00 ~ 08:00	4	4		3	1	2	14
08:00 ~ 12:00	7	7	7	3	9	5	39
12:00 ~ 18:00	4	5	5	9	8	7	38
18:00 ~ 22:00	5	1	5	2	3	1	17
22:00 ~ 06:00	9	6	6	4	5	5	35
合計	29	23	23	21	26	20	142

要介護度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
要介護Ⅰ	1						1
要介護Ⅲ	10	11	8	7	11	7	55
要介護Ⅳ	13	8	6	12	8	5	52
要介護Ⅴ	5	4	9	2	7	8	35
合計	29	23	23	21	26	20	142

今期は合計142件のひやりはっとが報告されたが、この数字は直近3年間の半期ごとの集計で、最も少ない件数となっている。正確に要因を特定する事は難しいが、『管理ミス』の件数も直近3年間の比較で最少だったことを例に挙げると、施設で暮らすお年寄り一人ひとりの生活状況を細部まで把握し、其々に応じたケアが実践できている事の表れと評価しても良いのかもしれない。

一方で『表皮剥離：12件』の数字は、直近3年間の比較で最も多い数であり、内6件が一人のお年寄りに繰り返し生じてしまった実態は、有効な再発防止策を講じることが出来なかった証左と言えよう。現在はスキンテア予防に効果があるとされる腕カバーの採用や、保湿を目的とする外用薬を使用しながら再発防止に努めている。今後も個々の特性に合わせて事故防止に当たる事が肝要とを感じる。

今月の登録者の方々
17名様です♪

小規模多機能ホーム「ひなたぼっこ」
住宅型有料老人ホーム「湖畔の宿」

今年初の雪もちらついてきて…「ひなたぼっこの日常」



【右上】みんなのオカリナ友の会友愛訪問 【左上】裁縫の時間(通い) 【下2】夜間防災訓練

おかげさまでした

寄贈

- ★ 匿名希望 様 [西和賀町]
- ★ 高橋 あや子 様 [西和賀町]
- ★ 湯田小学校 様 [西和賀町]
- ★ 和賀クリーニング 様 [北上市]
- ☆ 梨子下 深幸 様 [上野々]
- ☆ 高橋 レイ子 様 [上野々]
- ☆ 石川 アチ 様 [上野々]
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下前]
- ☆ 高橋 康文 様 [新町]
- ☆ 高橋 智也 様 [埼玉県]
- ☆ 宇留野 説子 様 [東京都]

訪問

- 10月14日「敬老を祝う友愛訪問」
- ★ やよい会 … 9名
- ☆ 熊谷 富夫 様、田村 健 様

★=光寿苑 ☆=ひなたぼっこ、湖畔の宿

面会・外出

- [10月1日~31日]
- [対面面会]
- ★ 延べ81名 (対象入居者27名)
- ☆ 延べ14名 (対象入居者5名)
- [自宅への外出]
- ★ 計5名 ☆ 延べ2名

- 10月21日「夜間防災訓練」
- ☆ 西和賀消防署員 2名、地域協力員 5名
- 10月27日「オカリナ演奏会」
- ☆ みんなのオカリナ友の会 6名 [東京都]

光寿会へのご支援

元気です！家族会♪

蜘蛛の子

これも母から聞いた話。この話でも父親の影は極端に薄く、居たのへ居ないのか、話の中には出てきません。

仕事の終わりの母が帰ってき
た時のことです。土曜日の昼頃
の話のようです。玄関前に母が
来ると、夕ぐし人分の小さな靴
か土間の上り口に散らばってい
たそうです。台所からは、ワイ
ワイと騒ぐ幼い声か聞こえてき
たとのこと。何が起きているの
か不思議に思ってたソツと覗いて
みると、台所の中は悲惨な状態
に、床には白い粒々が散乱して
いたようです。
「何してら！」
「思わぬ母は大きな声で、」

と叫ぶと、一斉に子どもたちは
母親を見た次の瞬間、「わっっ」
と言って蜘蛛の子を散らした様
に逃げ出たとのこと。

逃げた子どもたちほとんど
が私より一つ上の子どもたちで
したが、中には月級生の女の子
も。どういった経緯で私の家に
集まり、おひつのご飯を食べる
ことになったのか、今ではもう
分かりません。

その後、母は溜息をつきな
ら台所を掃除したそうです。後
年になって母は、

「今思えば、面白い経験だね。」
と笑いながら話していました。
記憶がないとは言え、姉たちの
ご飯もすべて食べてしまいい、晚
ご飯はごちから調達したのか？
悪戯もした。先輩の家のお供
え物の前に、真備氏の如く画鋏
を撒いて、下級生が来るのを隠
れて見ていて、「痛い！」とい
う声を聴き、笑いながら姿を現
して謝ったりしたげんご(笑)。

母はいつもあき水返っていた。

（続）



家族会副会長
佐々木忠雄氏
(役員は3期目です)



大先輩たちの清き一票
〔衆議院議員選挙期日前投票 10月24日〕



思慮深まる学びの秋
〔町の移動図書車両が来苑 10月17日〕



イラスト：1000

人柄はとて優しく、相手を気づかう姿勢や言葉が自然に出せるTさん。職場のみならず、地域の一般の方々にもかわいがられるからすごい！この日も、「ちよっとスパーに...」と言って、御礼の品々を準備したのだ。見習いたい半世紀おじさんである(汗)

大谷翔平の故郷から来た老僧

《マルタン房》

第10回 丸田善明

自然法爾 (じねんほうに)

秋の京都駅は、地球の様々な所からの旅行者たちで混雑していた。駅を出て、海外からの旅人が行き交う鳥丸通を北に向かい、東本願寺での講筈に立つ。

五百人ほどの聴衆が、私を見ている。

大谷翔平の故郷からやって来た老僧です。冒頭、このように話し始めた。聴衆の目が一斉に、私の横に立つ講師紹介の立て看板に注がれた。大谷翔平とは一面識もない老僧に、聴衆は注目する。これで講筈のステージは整った。

テレビ時代を潜って、現代社会は「スマフ

オレなびでいつでもどこでも発信し、情報を得て、意見を交換する双方向社会に突入した。インターネットという新しい文明によって、私たちは今まで経験したことのない社会をつくり始めたことを物語っている。

際立っているのは、生活の接点で引き起こされる犯罪である。人間の欲望が刺激され、気がげば懲役何年等というとんでもない事に...。先生は有名人ですか？と聞かれた。横にいる人が、チャカチャカスマフオを弄る。

有名人って、スマフオに書いてあるの？、ただの年寄りの坊さんだよ。

おわりに

浄土真宗の親恩講シーズン真っ只中。自身のお寺は勿論の事、近隣のお寺のお参りのお手伝いや、ご法話を務める講師として歩くなご、予定はお寺関係がいっぱいだ。講師を務める中、ふと思いついたのが、仏友・寺澤三郎氏が恩師から賜り大事にしている言葉。

法話の座を複数回依頼されている時、自分の持っている内容を小出しにして場をしのぐ様な法話ならしない方が良い。たった一回の法話を聴いて下さる人や場を軽く見ている。しいては、仏法を軽く見ていること。それは大切な出会いの場であることを自分が見失っている痛ましいあり方。この一回に全てを出しきる姿勢が大切。

※親恩講 親鸞聖人のご命日 勤行